

# 生活支援体制整備事業

## 【目的】

高齢者が住み慣れた地域でいつまでも自分らしく暮らすことができるように、介護予防の取り組みやつどいの場、地域での住民や団体による支え合いの充実を目指す。

生活支援コーディネーターが地域資源の情報収集やサービスの開発、ネットワークの構築（協議体）を行う。

# 【活動事例】 介護予防の取組み

## 高齢者の居場所づくり

地域の高齢者が集える場

- 茶話会
- 百歳体操、運動教室、eスポーツ
- 趣味活動の会
- マンション、集合住宅の居場所



# 【活動事例】 生活支援の取り組み

## とくし丸（移動スーパー）



### 背景・課題

地域住民の声

『スーパーが遠い』『誰かに頼まず自分で買い物したい』  
『自転車でスーパーに行っていたが、転んだことがある』

### 取組み

- 地域住民向けアンケートを実施。（ニーズ調査）
- 地域役員と協議。
- 移動販売業者と販売パートナーの呼びかけ。

### 成果

- とくし丸の営業開始。
- 商品を手に取って選ぶことができる。  
安否確認にもつながっている。

# 【取組強化事業】

## スマートフォン教室とボランティア養成



### 背景・課題

地域高齢者の声

『スマートフォン操作を聞ける場所が少ない』  
『操作方法が分からず困っている』

### 取組み

- ・スマホサポーター養成講座を開催。(担い手の養成)
- ・スマートフォン教室開催に向けた地域との話し合い。

### 成果

- ・スマートフォン教室が開催。5地域／月1回
- ・スマホの困りごとを解決するだけでなく、  
高齢者やボランティアの交流の場にもなっている。